



1 年生 目次

1 年 1 組 1 ・ 2 ページ

1 年 2 組 3 ・ 4 ページ

1 年 3 組 5 ・ 6 ページ

1 年 4 組 7 ・ 8 ページ

一年一組

おばあちゃんのうちの犬

おばあちゃんはいえには、げんきな犬がいます。からだには、ハートのもようがついていてかわいいです。

いつもげんきだけど、かみなりになるとブルブルしてしっぽが下がります。わたしもかわいけど、犬もかみなりがこわいんだなあとおもいました。

さんぽにいくときは、とてもうれしそうにとびはねます。こわいときもうれしいときもいっしょです。

こうえん

ぼくは、かぞくでこうえんへいきました。

ひろばでしてんしゃにのるれんしゅうをしました。ひとりでどんどのれるようになりました。

これからもういっばいれんしゅうしてうまくなりたいです。

もちつき

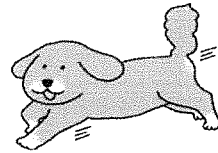
おばあちゃんの家でもちつきをしました。

きかいの中でおこめがグルグルまわっておもちになったので、びっくろしきあがったおもちをやいてたべたら、おいしく

ていっばいたべました。おいしかったです。



さわぎ くるみ



もり いっしん

たなか ななみ

わたしの犬

わたしのいえでは、ビーグルというしゅるいの犬をかっています。なまえはラッキーです。六さいくらいです。

わたしが学校からかえってくると、ドアのまえでまっています。ラッキーのおもしろいところは、わたしたちのものをくわえてラッキーのへやにもっていくところです。

ラッキーがドアのまえでまってくれているので、かえるのがたのしみです。

ぼくはごはんが大好き

いしい ゆうわ

ぼくは、ごはんが大好きです。ほかほかのごはんの上に、うめぼしをのせてたべるのが大好きです。あとは、おにくをいっばいのせたごはん、たまごやきをのせたごはん、ウインナーをのせたごはんも大好きです。

まい日、おかあさんと、おばあちゃんと、おじいちゃんといっしょにおしやべりをしながらたのしくたべるので、ごはんがとってもおいしいです。たくさんおかわりもします。

「おちゃわんにおこめのつぶがのこっていると、おこめをつくってくれたのうかさんがかなしむよ。」

とおばあちゃんにいわれます。それからぼくは、おこめのつぶをのこさないようにたべています。

おいしいおこめをつくってくれるのうかさん、ありがとうございます。

かんしょうきょうしつ

まなこ あおい

きのう、たいいくかんでかんしょうきょうしつがありました。

おんがくをきいたり、がっきのしょうかいやブレーメンのおんがくたいを見たりしました。

たのしかったです。またきてほしいです。

しゅうじきょうしつ

なかはら あんな

わたしは、金요일にしゅうじきょうしつにいきました。

「正」というかん字をかきました。

よこのせんがむすかしくて、なんどもれんしゅうしました。

さいごに、先生から花マルをもらえたので、とてもうれしかったです。



【読書感想文】やさしいうさぎ

うじの るか

わたしは、人をよろこばせることが大好き。この本に出てくるうさぎさんは、人にごちそうをするのが大好き。わたしにしているなとおもって、この本をえらんだよ。

うさぎさんはやさしいな。だって、どつぶつが好きなたべものをよういして、ごちそうしているから。

りすさんにはくるみ。あかねずみさんには、みずならのどんぐり。あさきまだらさんには、ふじばかまの花。くまさんには、えいようたつぷりのぶなのみ。

みんなが好きなものをしてっているなんて、すごいなおもったよ。

わたしも、花が好きなおかあさんのために、ははの日にシャボンフラワーをあげたよ。ないしょでこっそりおとうさんとかいにいったよ。イヤリングとなやんだけど、いいにおいがするシャボンフラワーをえらんだよ。

おかあさんにあげたら、

「うれしい。ありがとう。」

とよろこんでくれて、ちきゅうがぶつとぶくらいうれしかったよ。

うさぎさんもみんなによろこんでもらって、とってもうれしかったよね。こころにのこったのは、ふゆにくるむぶつさんのために、

「かきさんかきさん、どうかどうかおいしいほしがきになりますように。」とはなしかけて、ほしがきをつくっていたところ。

わたしも、あさがおに、

「大きくなつてね。たくさんたねがとれるといいね。」

といって水をあげたよ。あさがおが大きくなってたくさん花がさいたよ。たねは、いま六十九こもれて、まだまだたくさんとれそうだよ。

きつと、うさぎさんもまい日かきにむかって手をあわせていたから、あまいほしがきになって、たぬきやきつねがよろこんでくれたんだね。

みんなをよろこばせるために、

「わたしのいえにごちそうをたべにきてください。」

とてがみをかいたうさぎさん。

わたしも、うさぎさんにてがみをかくよ。

「うさぎさん、やさしいね。うさぎさんに、ほしがきをあげるね。だって、みんなにあげてたべられなかったもんね。わたしが、あまいほしがきつくるからね。」



めだまやきとウインナー

さかもと ひなた

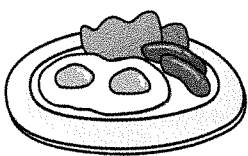
ほくには、しょうがく三年生のおにいちゃんがあります。

このまえ、おかあさんがねつがあるときに、ごはんをつくってくれました。めだまやきとウインナーをやいてくれました。

おにいちゃんがりょうりをもってきました。ほくは、すごいなとおもいました。

たべてみると、とてもおいしかったです。ごはんもたくさんすすみました。

つぎは、ほくもいっしょにつくってみたいです。



一年二組

じぶんだけのいろって

森山 花

わたしは、「じぶんだけのいろ」をよんで、オウムはみどり、金ぎよはあか、ぞうはいいろ、ぶたはももいろなのに、カメレオンだけは、いくさきざきでいろがかわるのは、とてもふしきだとおもいました。

どうしてカメレオンはいろがかわるんだろう。ふしぎにおもっておとうさんにきいてみると、

「カメレオンは、かくれんぼをしているんだよ。まわりのいろにあわせて、じぶんのからだのいろをかえるいきものなんだよ。」とおしえてくれました。

しぜんの中で、ときにおそれられないように、いろをかえてじぶんをまもっているんだなあとおもいました。わたしは、カメレオンってすごいいきものなんだということがよくわかりました。

けれども、この本のカメレオンは、からだのいろがかわるのがいやみたいです。ずっとおなじいろになりたくて、みどりのはっぱの上ののってみました。さんねんなことに、はっぱは、みどりやぎいろにいろがかわるのでだめでした。

そんなときに、出あったカメレオンと、いっしょにくらすようになりました。二ひきは、いっしょにみどりになり、むらさきになり、きいろになり、あかにしろのみずたまもようにもなりました。

ずっとおなじいろではないのに、本の中では、「めでたし、めでたし」とかかれていました。わたしは、どうして「めでたし、めでたし」なんだろうとおもいました。そこで、もう一ど、本をよんでみました。カメレオンは、一人だけいろがかわるのがいやだったけど、おともだちといっしょ

にくらすようになって、いつもふたりでいっしょのいろにかわるので、たのしくなったのだとおもいました。ほんとうに「めでたし、めでたし」でした。

うちゅうじんとわたし

えのき田 かほ

わたしは、うちゅう人がいるとおもいます。よる、空を見ると、ほしではなく、うごくものをみたことがあるからです。うちゅう人は、目が大きいし、あたまが大きいので、わたしはこわいです。

でも、この本に出てくるうちゅう人「コスモ」は、ベンキようがきらないけんたろうのために、かていきょうしとしてきてくれます。けんたろうがこまっているとき、コスモはいつもやさしいことばをかけてくれます。

わたしが、この本をよんで気になったことは、コスモがけんたろうとけんかをして、なみだをながしたことです。うちゅう人にもこころがあるのだとおもいました。コスモがカレーライスを食べ、

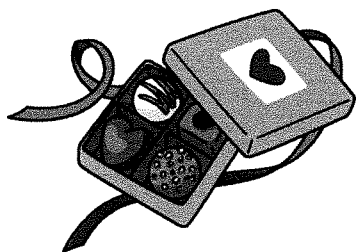
「うまい。」

といったことも気になりました。うちゅう人はいつもなにをたべているのかなあとおもったからです。でも、わたしだったら、カレーではなくて、

チョコレートあげたいです。コスモのかそくにももってかえって、たべてほしいからです。

この本をよみおわって、はじめは、うちゅう人は、こわい人だとおもっていたけど、じつは、人

げんとなかよしになれるんだなあとおもいました。けんたろうにはうちゅうひこうしになって、コスモにあいにいってほしいです。そのときは、わたしもいっしょにいて、コスモのいるうちゅう人のくらす町を見てみたいです。



二學きががんばったこと

まえむら こと花

わたしは、二學きががんばったことが三つあります。

一つめは、字をきれいにかくことです。ししゃノー
トにお手本を見ながらきれいにかいています。せんせ
いにいつもほめられてうれしいです。

二つめにがんばったことは、トイレのスリッパをな
らべることです。一學きは、ならんでいないスリッパ
があっても、あまりならべようとしなかったけど、二

學きは、気がついたならなべるようにこころがけました。きれいにならん
だスリッパを見ると、いい気持ちになりました。三學きもつづけたいと
もいます。

三つめは、じきゅうそうたいかいです。十いまでに入れるように、おに
いちゃんといえのまわりをはしってれんしゅうしました。じきゅうそうた
いかいでは、十いまでに入れなかったけど、いっしょうけんめいがんばれ
たのでよかったです。

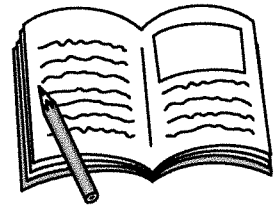
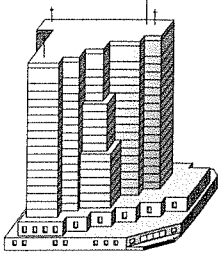
三學きも、いろいろなことにチャレンジしてがんばりたいです。

ふゆやすみのおもい出

つまがり まなと

ぼくのふゆやすみのおもい出は、ホテルにとまったことです。一月一日
のお正月に、みやぎきの「テージヒム力」というところにとまりました。

いくまえからたのしみにしていました。ホテルは、
とてもひろくて、うれしくてベッドの上をなんかい
もジャンプしました。とてもたのしい一日になって
よかったです。まだいつかいきたいです。



きゅうきゅう車

うの てるみ

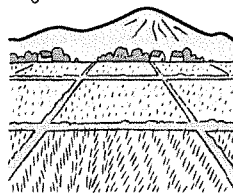
きょう、学校のかえりみちで、いそいでいないきゅうきゅう車がとおり
ました。

「正しいきゅうきゅう車のつかいかたをしてください。」
といていました。

わたしとおかあさんが手をふると、あかいランプを
ピカピカつけてくれて、手をふってくれたので、とて
もうれしかったです。

わたしとおこめ

と山 ゆあ



わたしは、おこめがだいすきです。
ごはんのときは、いつもおかわりしています。

このまえ、おじいちゃんとおばあちゃんといえに、田うえのおてつだい
にきました。山の中にある田んぼで、ながれている川の水は、とてもき
れいでした。かえるやおたまじゃくしもいました。おかあさんといもうと
と、はっぱでおふねをつくって、川にながしてあそんだりしました。

おばあちゃんが、

「きれいな水でそだっているおこめだから、おいしいんだよ。」

とおしえてくれました。だから、わたしのたべているおこめは、おいしい
んだとおもいました。つきは、いねかりにいくのがたのしみです。

わたしのいえでは、おじいちゃんとおばあちゃんがつくってくれたおこ
めと、おとうさんがつくってくれた、からあげをいっしょにたべるのが、
大すきです。

これからも、おいしいおこめをいっぱいたべて、大きくなりたいです。



一年三組

青少年読書感想文コンクール 県二席作品

へいわってどんなこと?

ほのかわ ようすけ

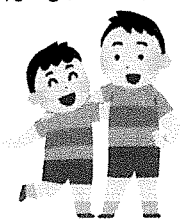
ぼくは、へいわってだのいいことだとおもっていました。でもこのほんには、まいにちごはんがたべられたり、ともだちといっしょにべんきょうできたり、ともだちといっしょにうたをうたったり、おもいきりあそべるのもへいわだとかいてありました。

もし、へいわじゃなくなったらいづなるんだろ。ごはんがたべられなくなるのはいやだなあ。学校にいけないのもかなしいなあ。へいわじゃないのは、とってもかなしくていやだなあとおもいました。むかしみたいにたかいをしてみんながけをしったり、いなくなってしまうたらとおもうと、ぼくはこわくてなみだがでました。ぜったいにたかいはいけません。へいわにするためには、どうすればいいのかなあ。ぼくは、おにいちゃんとよくけんかします。けんかをして、いやなことをいいます。そしてだんだんおにいちゃんがきらいになります。とってもいやな気持ちになります。でもそれではいけません。ぼくがわるいときはちゃんとあやまろうとおもいます。

そして、やさしくいふとおもいます。そしてらおにいちゃんもにこにこしてもやさしいです。

みんなが、いわれたらいやだとおもっているのをいわないようにしたり、まわりのひとにやさしくすれば、みんながなかなくなってへいわになるとおもいます。

いっしょに「ロナ」でもいっしょにいけないけれど、みんなでなかよくたのしくしたいです。そして、「ロナ」がなくなったら、いろんなことにいって、みんなであそびたいです。



県文集「ともだち」氏名掲載作品

「まほうのじゅうはんはいき」をよんで

おれお ふうふう

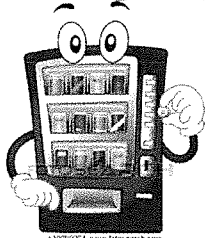
この本は、じゅうはんくんが、学校のかえりみちに見つけた「あなたのみかた」

とかいてあった、まほうのじゅうはんはいきのおはなしです。

まほうのじゅうはんはいきは、ボタンをおすと、なないろにひかって「ピロピロリン」と、おどがしてほしいものがでできます。

じゅうはんくんがボタンをおすと、かぶとむしやゲーム機がでてきました。

もし、ぼくがじゅうはんはいきを見つけたら、ぜったいにおします。そして、ドラえもんをだしてもらいます。なぜなら、タケコプターをポケットからだしてもらって、空をとびたいからです。まだ、じゅうでもドアをだしてもらって、おはくかいのいろいろはじょうすべいきたいです。



ある日、おかあさんはじゅうはんくんにはんはいきから、そつきようしてほしいとおもって、ボタンをおしました。すると、ひかっぺにみだいに、そらのぼってきえていきました。じゅうはんくんはかなしみました。

この本のなかで、いちばんじゅうのこったことは、なんでもはんはいきにたよっていたら、ひとりじゃなんにもできない、だめなおとなになってしまうというところでした。じゅうはんくんは、じぶんできついで、ぼくはすごいなとおもいました。

この本をよんでみて、ぼくは、じぶんできいこと、じぶんですいことがたいてすたとおもいました。

これから、じぶんできいこと、じぶんできいこと、じぶんできいこと、はんばってちょうせんして、いろいろなことがじぶんできいようにならたいです。

県文集「ともだち」氏名掲載作品

「百田たんけん」をよんで

みのほろ シ

わたしは、このなつやすみに「百田たんけん」という本をよみました。この本は、百田をもつて、なにがええるのか、たんけんをする本でした。

百田があったら、おにくやちたては、ぶたにくはおおごうで、おもしろいこと、じゅう。かなやちたては、タ「はかえなけい、わかめーちんか、ちんまーびき。

やおやさんでは、大きなトマトが二こか、ピーマンだったら五こかえます。ケーキやさんでは、おとなだったら一口ぶん。コンビニでは、おかしが五こ。はなやさんでは、カーネーションが一本だけかえます。

お金ができるまえは、ぶつぶつこうかんをしていたそつで、山のりようしさんがとってきたおにくとつみのりようしさんがとってきたさかなを見せあって、おたがいがいいなとおもったら、あくしゅをしてこうかんしていたそつです。でも、そのあとおかねがはつめいされて、ほしいものは、おかねこうかんすればよくなりました。



わたしは、がくどうのえんそくでたべるおかしを、三百円ぶんかいにいきまきました。かえたのは、十一びんのおかしでした。おなじ日に、三百円のカチャカチャを一回しました。おなじ三百えんでも、おかしは十一こかえただけで、カチャカチャは一回しかできませんでした。わたしは、おなじ三百円ぶんなら、たくさんかえるおかしがいいたとおもいました。

ものには、ひとつひとつがちがあつて、それをかうには、一円でも五円でもたいてせつにしないといけないということがわかりました。これからわたしもおかねをたいてせつにいきたいとおもいます。

じゃがいもほろ

山田 とうや



きょう、ぼくは、いとこたちとおばあちゃんちのにわでじゃがいもほりをしました。へん手をつけてじゅんびをしたら、おばあちゃんにいまがうまっているばいしょをおしえてもらって、そこをほりました。するとじぶんのじぶんとおなじくらいのもがたぐさんほれました。

みんなでほったいもは、よるにくじゃがにしてたべました。いとこのおもいづができてうれしかったです。

じぎゅうせい

まつやま ちせ

にわでいぬのきなことおねえちゃんとおかあさんときぎゅうせいのわんしゅ

うをしました。きなこは、とってもはやかかったです。おかあさんは、あるいていました。はやくはしるようになりたいです。

手がみ

まつの りあら

サンタさんへ手がみをかきました。たくさんかきました。サンタさんにといいです。

もちつき

くほ あらん

きょう、ぼくはおばあちゃんのいえでいとおもちをつくりました。あつあつのおもちをまるめるのが、むずかしかったです。しょうゆをおもちにつけてたべたらおいしかったです。



かんばしらこうえん

おともり まりあ

日よう日に、かんばしらこうえんにいきました。みやた すみれちゃんに会いました。いっしょにあそびました。

ながいすべりだいがわたしはこわかったです。でもすみれちゃん、よゆうですべていました。

まだ、いっしょにあそびたいです。たのしかったです。



どんぐりむら

ありむら はな

土よう日に、どんぐりむらこうえんへいきました。

こわいかとおもったら、たのしかったです。タイヤをジャンプするゆづもありました。のったら、へっこみました。

見たことのないゆづもありませんでした。まだいきたいです。とてもたのしかったです。

一年四組

青少年読書感想文コンクール 県三席

たすけあいっていいなあ

木下 ひさと

ぼくは、本がすぎです。なつ休み中に、たくさんよんだ本の中で、とてもおもしろかったのが、ほねほねザウルスでした。

この本は、ベビーという名まえの子どものほねほねザウルスが、なかまといっしょに力をあわせて、いろいろなぞをときながらてきとぼうけんするおはなしです。

その中で、ぼくの一ばんすぎだったところは、なかまといっしょにひかりのきょじんをぶっかつさせて、やみのドラゴンをたおしたところです。ここがすきなりゆうは、たたかいでベビーがけがをしてしまうけど、なかまがしんぱいしたり、たすけあったりしていたからです。ここをよんでぼくは、

「ありがたいなあ。やさしいなあ。」
という気持ちになりました。

ぼくにも、ベビーとおなじようなことがありました。それは、あさのとう校はんで小学校にいつているときに、ぼくがこけてけがをしてしまったときです。そのとき、とう校はんのみんながたすけてくれて、ほけんしつにつれていってくれました。ぼくは、

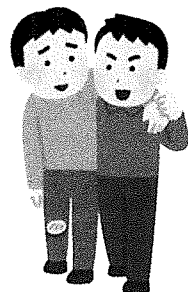
「ありがとう。みんなやさしいなあ。」

という気持ちになりました。ベビーもぼくとおなじ気持ちだったのだろうとおもいました。

この本をよみおわって、ぼくは、

「たすけあいっていいなあ。」

とおもいました。ぼくたちにんげんはみんな、たすけあっているということがわかったので、ぼくは、これからはこまっている人を見かけたら、じぶんからすすんでたすけてあげるようにしていきたいです。



文集「ともだち」掲載作品

ぼくのすきなきょうりゅう

みや田 はる

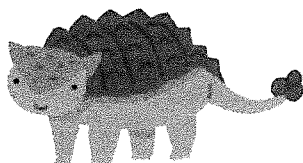
ぼくのすきないきものは、きょうりゅうです。

きょうりゅうというのは、中せいだいにいきていたいいきものです。その中でもぼくは、アンキロサウルスがーばんすぎです。

アンキロサウルスは、中せいだいのーばんさいこのじだい、はくあきにいきていました。いまからやく、六千六百年もまえのことです。

アンキロサウルスは、かたいよろいにつつまれています。そうしよくきょうりゅうで、はのかたちは、木のはのかたちをしています。しっぽのさきに、大きなハンマーがあり、きけんをかんじると、しっぽでこうげきします。

ぼくがーばんすぎなところは、あたまのよこにある、三かくけいの小さなつです。アンキロサウルスのなかまにしかないものだからです。そうしよくきょうりゅうだけれど、よろいのようなたてをもち、しっぽのハンマーと三かくのつので、にくしよくきょうりゅうのこうげきをふせげたところがかっこいいとおもいました。



きょうりゅうは、はくあきこうきに、いんせきのしょうとつでせつめつ

してしまいました。いつかはくぶつかんで、アンキロサウルスのかせきかほねを見てみたいです。

動物の作文コンクール 入選作品

くわがた虫とかぶと虫

まえ田 れんと

ぼくは、なつ休みのまえに、じいちゃんにくわがた虫をもらいました。くわがた虫をそだてるのはひさしぶりだったので、じいちゃんにそだてかたをおしえてもらいました。

くわがた虫はともげん気で力がつよくて、プラスチックのふたをつのはさんでパキパキと音がなっていました。そして目で見たら、プラスチックにひびが入っていてびっくりしました。

ぼくは、もうくわがた虫がとれないとおもっていたけど、じいちゃんがとってくれてうれしかったです。

なつ休みになって、かぶと虫のオスとメスをかってもらいました。くわがた虫とおなじようきに入れました。いっしょに入れていたら、くわがた虫とかぶと虫がたいけつをはじめたので、べつべつのように入れたけれど、かぶと虫がまけたみたいで、かぶと虫がしんでしまいました。そのときかぶと虫のあたまをもち上げたら、あたまがとれてしまいました。とてもかなくて、おはかをつくってうめました。

ぼくは、いきものをかうのはむずかしいとおもったので、しっかり本などでべんきょうをして、おせわをがんばらないといけないとおもいました。くわがたは、太じにそだてようとおもいます。



おもちつき

おきにし ゆり

きょうは、おじいちゃんちでおもちつきをしました。そとはとてもさむかったけど、あたたかいおもちをもつて、手があたたかくなりました。おもちの中に、チョコレートやあんこを入れてたべました。もちもちして、とてもおいしかったです。

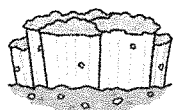
またおもちつきをしたいです。



しもばしら

きたのその こいろ

きょうは、はつもうでにいて、しもばしらを見つけました。しもばしらをふんだら、ざくざくと音がなって、とてもおもしろかったです。しもばしらのながいこおりがきらきらして、とてもきれいでした。またしもばしらを見つけたら、たくさんふんであそびたいです。



ながれぼし

みやもち りんか

わたしは、水よう日にながれぼしを見ました。空にたくさんぼしが出ていました。ながれぼしは、ひゅうとせんのようにひかっていた。さいごに、ながれぼしが木のほうにきらきらととんでいきました。

すごくさむかったけど、とてもきれいでした。また見たいです。

